みんなのひろば

まちの話題を紹介します

「話すことの楽しみ、おもしろさ体感」

（3／29　放課後児童クラブお楽しみ会）

市内6カ所の放課後児童クラブで、京都女子大学落語研究会の学生による落語会を行いました。この取り組みは、子どもたちが「話の中のことば」から話の内容をイメージすることにより、すべての学力の基礎となる「ことばの力」を身に付けられるよう実施。この日、胡麻放課後児童クラブでは、９人の児童が「動物園」と「時そば」の落語２席を楽しみました。扇子と手ぬぐいを巧みに使い、表情豊かに話される落語に引き込まれ、会場は笑顔でいっぱいに。感想を聞かれた子どもたちはみんな「おもしろかった」と口々に話し、はじめての落語を堪能しました。

▲落語に聞き入る子どもたち

「アユモドキの生息　5年ぶりに確認」

（3／8　アユモドキ生息確認調査報告会）

◀アユモドキが発見されたときの様子

昨年9月30日に八木町大堰川上流で発見されたアユモドキのＤＮＡ鑑定結果の報告会が八木支所で行われ、長年アユモドキの調査を行われている市民団体の代表者など9人が出席しました。京都大学大学院の岩田明久教授は、発見されたアユモドキの背びれのＤＮＡを亀岡市や岡山県の個体群のものと比較した結果「亀岡市の個体群との明確な遺伝的差異は認められない。亀岡市から大堰川を遡上してきた可能性がある」と報告されました。今後も生態調査を継続し、環境教育などに生かしていきます。

▲コーヒーの香りに包まれる会場

「豊かな香り漂う『用の美』の空間」

（4／1～4／24　用の美の空間２０１１）

京都伝統工芸職人展「用の美の空間２０１１」が美山かやぶき美術館で開催。４回目となる今年は「土とかおり」をテーマに、南丹地域にゆかりのある職人や京都伝統工芸大学校で学んだ工芸家、16人の方々による作品展示と即売が行われました。

９日には、京都美山さいふぉん亭によるコーヒーに関する講義と入れ方の実演が行われ、展示会場いっぱいにコーヒーの香りが広がりました。受講者からは、コーヒー豆や粉の保存方法、コーヒーメーカーの選び方などについて質問があり、講義終了後には、入れたてのコーヒーが振舞われました。

▲作品を手に取る来場者